成果の説明書

(氏名)田中宏和	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(教育)</p> <p>本年度の担当科目は、スポーツ政策論、スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ、基礎演習、演習Ⅰ、初年次ゼミ、であった。詳細は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ政策論 受講者のスポーツへの関心の度合いを踏まえながら、スポーツが抱える現状及び政策的課題について、できるかぎり具体的なテーマや事例を数多く取り上げた。またそれらの課題等について受講者が自身の意見を持てるよう工夫し展開した。・スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 受講者の運動能力を踏まえながら、受講者全員が各スポーツ種目に参加できるようゲームの実施方法やルール設定を工夫しながら実施した。・基礎演習 原田宗彦著：『スポーツ地域マネジメント：持続可能なまちづくりに向けた課題と戦略』、学芸出版社、2020.7の輪読を行った。 また「たかしんビジネスコンテスト」、「ご当地ゆるスポーツアワード2023」に参加した。惜しくも入賞等には至らなかったものの学生にとっては良い経験の場となった。学生のアイデアを尊重しながら新たな気づきが生まれるよう工夫をしながら指導にあたった。・演習Ⅰ 余暇ツーリズム学会編：『「おもてなし」を考える 一余暇学と観光学による多面的検討』、創文企画、2019.3の輪読を行った。 また「大学生観光まちづくりコンテスト2023」、「Sport Policy for Japan 2023（スポーツ政策学生会議）」に参加した。惜しくも入賞等には至らなかったものの学生にとっては良い経験の場となった。学生のアイデアを尊重しながら新たな気づきが生まれるよう工夫をしながら指導にあたった。・初年次ゼミ 初年次ゼミテキスト及び輪読テキスト（朝比奈ミカ、菊池馨実編：『地域を変えるソーシャルワーカー』、岩波書店、2021.1）を用いて新入生が学びを進めていく上で不都合が生じないように工夫しながら展開した。 <p>(研究)</p> <p>書籍（共著）1冊、研究ノート1編の執筆を行った。また以前から取り組んできた国会議論のデータ収集及び分析を行った。</p> <p>(学生指導)</p> <p>体育会顧問及び直心影流剣道部顧問（部長兼監督）として学生指導を行い、各種行事に参加した大会及び結果は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none">・第69回関東学生剣道選手権大会（日本武道館）・第55回関東女子学生剣道選手権大会（墨田区総合体育館）・第72回関東学生剣道優勝大会（日本武道館）・第49回関東女子学生剣道優勝大会（墨田区総合体育館）・第13回東都学生剣道優勝大会（尚美学園大学）・第69回関東学生剣道新人戦大会（東京武道館）	

- ・第 89 北関東五大学剣道大会（宇都宮大学）
- ・群馬三大学剣道大会（高崎健康福祉大学）
- ・第 17 回全日本学生剣道オープン大会（いしかわ総合スポーツセンター）

（地域貢献）

神奈川県大和市剣道連盟学校剣道運営委員会委員として連盟の運営に携わった。

2 その他の事項

入試運営委員会、学生支援委員会、授業料減免審査委員会、基礎教育センターホームカミングデイ委員会、ハラスメント相談室、初年次ゼミ WG、の各委員として学内業務に携わった。

3 次年度以降の計画・抱負

（教育）

今年度の「授業に関する学生アンケート調査」の結果を踏まえながら改善を行い、受講者の学びがさらに深まるよう展開方法等の工夫を行う。

（研究）

これまで継続して行っている国会議論に関する研究成果をまとめ、論文執筆及び学会発表を行う。

（学生指導）

体育会及び直心影流のさらなる活動充実を目指す。また全日本学生剣道大会及び全日本女子学生剣道大会への出場を目指す。